

(3) 本年度の学校評価

<p><b>本年度の 重点目標</b></p>	<p>①総合学科の特性を生かしたキャリア教育の充実と主体的に学ぶ力の育成 ②けじめある生活態度の育成と規範意識の醸成 ③人間関係能力の育成 ④国際理解教育の推進 ⑤安心・安全な教育環境の維持・向上 ⑥開かれた学校づくりの推進 ⑦教員の指導力向上とチームワークの強化</p>		
<p><b>担当分掌</b></p>	<p><b>重点目標</b></p>	<p><b>具体的方策</b></p>	<p><b>評価基準</b></p>
<p>総務部</p>	<p>①災害等に対する安全教育の確立 ②保護者との連携の強化 ③行事の復活及び見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策マニュアルの随時見直し。</li> <li>・避難訓練の年2回実施。2回目の訓練では実地訓練を行い、職員や生徒の防災に対する意識を高める。</li> <li>・PTAとの連携を密にとり、学校行事およびPTA行事への積極的な参加を図る。また、学校評価アンケートの実施やPTA理事会を通して、学校運営の理解を図る。</li> <li>・総務担当の式典、集会、行事などの企画・運営は復活及び見直しを行い、適切な対応を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策マニュアルの見直しはできたか。</li> <li>・防災では、実践活動による成果を検証できたか。</li> <li>・避難訓練の実施に留まらず、資料の展示などを通じて防災意識を高めることができたか。</li> <li>・保護者のPTA行事等への積極的な参加はあったか。</li> <li>・保護者アンケート結果やPTA理事会での協議を学校運営に有用できたか。</li> <li>・行事の復活や見直しはできたか。</li> </ul>
<p>教務部</p>	<p>①「主体的・対話的で深い学び」をふまえた指導方法の実践と指導と評価の一体化を図る授業改善 ②校内業務の効率化及び改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観点別評価を中心に評価と授業改善が円滑に実施できるように、各種情報を教職員に伝達するとともに、学年・教科・分掌と連携して家庭学習の充実を図る。</li> <li>・校務支援システムのさらなる活用方法を検討するとともに、データ処理は複数チェック、庶務作業は分担することで学校全体の業務が滞ることがないようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価方法について情報共有を行い、必要な情報伝達や、教育課程の改訂に向けての検討を進められたか。</li> <li>・校務支援システムの有効活用によって日常業務の効率化やミスのない成績処理が実施できたか。</li> <li>・物品の管理など日常業務の負担を軽減できたか。</li> </ul>
<p>総合学科研究部</p>	<p>①探究活動の充実と発信 ②中学校体験入学や説明会における広報活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「産業社会と人間」や「総合的な探究の時間」で使用するワークシートの充実と他の教員との共有を積極的に行い、使用したワークシートをホームページにアップし、生徒・職員の探究活動への関心を高める。</li> <li>・体験入学や説明会に在校生を参加させ、本校生徒の様子を見ることで関心が高まるように工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究活動における教材等の充実を図り、生徒や職員の探究活動への関心を高めることができたか。</li> <li>・中学生とその保護者に向けて本校の魅力や特徴を伝えるなど、広報活動が効果的にできたか。</li> </ul>
<p>生徒指導部</p>	<p>①規範意識の確立 ②基本的な生活習慣の確立 ③安全意識の高揚 ④人権意識の啓発といじめの防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の求める高校生像を理解させ、社会への帰属意識を高め、規範遵守を奨励する。</li> <li>・食事、睡眠など、規則正しい生活習慣を継続的に送る。</li> <li>・交通ルールを理解し、自他の安全に対し日常的に配慮ができるようにすることで、無事故無違反を目指す。</li> <li>・自他の違いを認め、自他の命を尊重する精神を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な身だしなみや、きちんと挨拶をするなど、高校生らしく、落ち着いた生活ができたか。</li> <li>・寝坊や理由が明確ではない遅刻数を前年度から減少させることができたか。</li> <li>・自転車の事故を前年度から減少させることができたか。</li> <li>・自転車運転時に「ながら運転」をしないで、運転に集中し、安全に運転することができたか。</li> <li>・自他の違いを認めあい、お互いに配慮しながら生活することができたか。</li> </ul>
<p>進路指導部</p>	<p>①進路に関する情報の生徒、保護者への周知徹底 ②模試結果の分析と活用 ③キャリア教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の入試状況の変貌を生徒、保護者にガイダンスを通して的確に伝える。</li> <li>・求人票閲覧システムを活用し、円滑な就職指導を行う。</li> <li>・新課程入試の情報をまとめ、職員、生徒、保護者へ周知を図る。</li> <li>・各生徒の模試結果を分析し、各教科からの意見を出してもらったうえで、教科指導や担任等の進路指導に役立てる。</li> <li>・キャリア教育の一環として、看護師体験や保育体験など、生徒へ積極的に案内し、体験に参加するようにPRする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、保護者が、年々変貌していく進路環境を間違いなく把握できたか。</li> <li>・求人票閲覧システムを十分活用し、生徒、保護者に求人情報を提供することができたか。</li> <li>・模試の結果を分析し、教科から意見をもらい、学習のアドバイスを生徒にできるような資料の作成ができたか。また、分析結果を活用し、生徒の学力向上に役立てることができたか。</li> <li>・職場体験実習やインターンシップに積極的な参加が見られたか。</li> </ul>
<p>保健部</p>	<p>①新型コロナウイルス感染症の新たな対策の策定 ②教育相談の充実 ③校内環境美化の整備 ④校務支援システムの運用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ対策として新たな基準に即した方策を周知する。また、生徒が主体的に感染予防対策に取り組む。</li> <li>・スクールカウンセラーと連携を図りながら担任も含めて相談に関わる生徒の対応に努めていく。</li> <li>・I K B (岩総をきれいにする美化委員) の活動の幅を広げて、校内の美化を今まで以上に進めていく。</li> <li>・校務支援システムについて、保健関係の運用を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症の新たな予防対策に関する知識を深め、主体的に予防対策を実践することができたか。</li> <li>・スクールカウンセラーと協力をし、関係する生徒、保護者との連携を図ることができたか。</li> <li>・美化委員が積極的に活動に参加し、校内の美化に対する意識を高めることができたか。</li> <li>・運用が的確に進めることができたか。</li> </ul>
<p>特別活動部</p>	<p>①学校行事における内容の見直しとICTの活用の改善と円滑な運営 ②コロナ禍の影響から改善し地域ボランティア活動への積極的な参加と充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前の計画と職員間の理解・連携を図り、ICTの活用を改善し情報発信に努める。</li> <li>・生徒の自主性を尊重しつつ的確なアドバイスを与える。</li> <li>・コロナ禍の影響から改善し、生徒の地域ボランティア活動への関心を高め、参加を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの学校行事の内容を見直し、ICTの活用を改善し充実且つ適正な行事となるよう運営できたか。</li> <li>・生徒の活動に指示やアドバイスができたか。</li> <li>・部活動等と連携し、コロナ禍の影響から改善し地域ボランティア活動への積極的な参加を促すことができたか。</li> </ul>
<p>図書部</p>	<p>①学校図書館の機能向上と生徒の利用拡充 ②生徒の主体的、意欲的な読書活動や学習活動の推進 ③各種発行物の内容充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蔵書や資料の精選及び管理、配架やレイアウトの工夫に努め、読書環境を整備する。</li> <li>・生徒の読書意欲の喚起と読書習慣形成に努め、読書活動の充実を図る。</li> <li>・文化講演会を通して、芸術・文化に対する理解を深める一助とする。</li> <li>・図書委員会による広報、読書感想文指導、「岩総50選」の改訂、「図書館だより」発行などを通して読書活動を啓発する。</li> <li>・校誌「みどり」を、本年度が的確に後世に伝わる形で発行する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学習活動や読書のための環境が整っているか。</li> <li>・各学年や各教科と連携して生徒の読書意欲を喚起し、学校図書館の資料や蔵書を活用した読書活動の充実を図ることができたか。</li> <li>・図書館の利用率が高まったか。</li> <li>・校誌「みどり」が、本年度の本校の足跡を十分に記録するものとして発行できたか。</li> </ul>